

高齢者・障害者・妊婦などの移動手段の確保を



ふじき ひろし
藤木 裕士 議員

Q 循環バスを便利で利用しやすくするための取り組みは。

A 循環バスを含めた公共交通を見直し、持続可能な公共交通体系を構築するため、令和元年度に地域公共交通網形成計画の策定に着手しました。

Q バス停をスーパーマーケットやクリニックの入口付近に設置できるか。

A 敷地所有者の同意を得る必要があります。また、駐車場を走行するため、歩行者の安全確保が重要で、設置の可否は慎重に検討する必要があります。



市民の大切な交通手段の循環バス

Q バス停の場所の変更や新規に設置するには、どうすればよいか。

A 自治会などで協議され、地区として最適な場所を選定し、市へ相談してください。

Q バス運行ルートでの自由乗降(フリー乗車・フリー降車)できる基準は。

A 国に自由乗降区間を明記した路線認可を申請し、認可される必要があります。自由乗降が可能な場所は、警察、道路管理者、運行事業者と十分協議、調整したうえで、乗降者や歩行者などの安全性が確保できる場所となります。

質問事項

- ◆循環バス
- ◆国民健康保険制度の普及啓発事業

ひとこと解説!

ジェネリック医薬品とは
新薬と同じ有効成分を含み、品質、安全性などが同等な後発薬で、低価格となります。

ジェネリック医薬品の普及啓発の促進を

Q 国民健康保険制度の普及啓発事業の取り組みは。

A ジェネリック医薬品差額通知の内容や発送計画について、香取都市医師会と香取郡薬剤師会に意見をいただいています。また、保険証や診察券に貼るジェネリック医薬品希望シールを保険証の更新時に加入全世帯へ、窓口では新規加入者や希望者に配付しています。さらにイベント会場での配付、広報かとりなどで啓発しています。

Q 市民事業仕分けによる改善点とその効果は。

A 令和元年度は医療費通知を年3回から2回に、ジェネリック医薬品差額通知を4回から3回に減らし、その効果を検証しながら効果的に実施します。

合併時の基本合意を確認する



ひらの かずのり
平野 和伯 議員

Q 3町合併検討に佐原市が加わり町民に不安が広がったが、福祉、教育、祭事、町内の維持管理の予算確保、支所機能などを維持するため、地域自治区制度を導入し、香取市が誕生した。その後、効率が悪いと破棄され、公平なつづかいが揺らいでいるが、市長の考えは。

A 合併協定項目の調整方針により事業の調整を行い、住民サービスが低下しないように一元化に取り組んできました。一方で、社会経済情勢の変化に加え、市民ニーズも複雑かつ多様化しており、合併当時に調整した事項も、不断の見直しを行わなければならないと考えます。

Q 緊縮財政や事業仕分けによる栗源の夏まつり、栗源のふるさととも祭、高齢者クラブ、各区への補助金の影響は。

A 令和元年度当初予算で、栗源の夏まつり実行委員会補助金は80万円で20万円の減額です。栗源のふるさととも祭を含む4つの地域イベントで構成する香取のふるさと事業は1200万円で159万円の減額で、配分額は実行委員会で決定されます。高齢者クラブ連合会および単位クラブ補助金は平成30年度と同じ基準です。行政連絡業務交付金は、規模割は平成30年度と同じですが、世帯割は1世帯あたり8400円で1000円の減額、総額232万5千円の減額です。

Q 重要路線市道1・64号線高萩下小野線の状況は。

A 整備の検討を始めていますが、工事は地籍調査事業により境界確定後に実施する予定です。

Q 山田支所、栗源支所で出生届、死亡届の取り扱いが廃止されたが、改善の見込みは。

A これからも本庁および小見川支所で手続きをお願いします。

質問事項

- ◆合併時の基本合意
- ◆選挙投票時間の公平性

ひとこと解説!

期日前投票の時間は
令和元年7月現在、本庁は午前8時30分から午後8時まで、支所は午前8時30分から午後6時までです。

期日前投票の時間が本庁と支所で異なる不公平

Q 支所での投票者は少なく、本庁のみ午後8時までで公平にすべきでは。市の予算であり信頼回復に努力されたい。合併14年で世代が変わったが、市は4本の柱で成り立っていることを認識されたい。

A 本庁・支所どの期日前投票所でも、投票できます。投票時間は、事務従事者、投票立会人の確保などを考えて検討します。



栗源支所に開設した期日前投票所